

輝く!

Wakayama Prefecture Education Public Relations Paper

和歌山県教育広報紙

# 紀の国の教育

46  
NO.  
2022.3

特集

変わる!  
わかやまの農業教育



## CONTENTS

- P4 先生も学び続けています!!〈自主研究会〉  
第42回 近畿高等学校総合文化祭 和歌山大会
- P5 展示・イベント
- P6 きのくにコミュニティスクール〈由良町〉
- P7 きのくに教育めぐり〈日高川町教育委員会〉

# わかやま農業教育一貫プロジェクト

令和4年度入学生から  
本格始動!

# 特集 変わる! わかやまの農業教育

## 地域農業をリードする人材の育成

わかやま農業教育一貫プロジェクトは、農業系高校4校（紀北農芸・有田中央・南部・熊野）と農林大学校が専門的な授業等で連携することによって、5年一貫の教育システムを構築する事業です。

これにより、高度で優れた専門性や実践的な知識・技能を備え、地域農業をリードしていく人材の育成を目指しています。



糖度計で調査



ウメの収穫

## 和歌山ならではの学び

農業系高校においては、和歌山の主要な農産物である果樹（ウメ・カキ・モモ・ミカン）の栽培に特化し、研究施設等と連携しながら学習を進め、高校生はもちろん、教員の専門性の向上も図ります。

農林大学校への進学後は、農業系高校で学んだ科目の一部を免除することで、その時間を活用した、より深い研究が可能となります。

この一貫教育を通して、スマート農業や6次産業化についても実践的な実習や研究を行い、効率的な栽培につながる高い技術力や経営的な視点を持った人材が育つことを期待しています。

## 農業科特別選抜を導入

和歌山県教育委員会HP  
農業科特別選抜へ▶



## 農業科で実施

令和4年度に向けて、農業を学びたいという意欲のある県内外の中学生を対象として、通常の入学者選抜前に、農業科特別選抜を実施しました。実施した高校は、紀北農芸高校と南部高校で、令和4年2月上旬に面接と作文の検査が行われました。

## さあ!農業への扉を開こう

農業を将来の仕事として真剣に考えたい、和歌山の農業を支えたい、そのような熱い思いを持った中学生に、ぜひ受検してもらいたいと思っています。



## 切磋琢磨しながら成長

この特別選抜により、全国から集まってきた高校生と県内の高校生が切磋琢磨しながら、果樹王国・和歌山で、お互いに高め合いながら果樹栽培を学びます。

また、全国募集の導入とともに、和歌山の農業教育を全国に発信して注目されることで、高校生たちが自信と誇りを持つことにもつながると期待しています。



ウメの収穫

## わかやま農業教育一貫プロジェクト



# わかやま 農業高校マルシェ

わかやま農業高校マルシェは、農業教育の学びの成果を発揮し、農業教育の魅力を地域に発信することを通して、それぞれの地域農業の課題解決に向けた学習活動につなげるものです。さらに、農業系高校のない和歌山市で開催することで、農業系高校の取組を広くPRしています。



日時/毎週金曜日の12:00~13:00  
(学校行事等を除いて原則開催)

場所/JR和歌山駅前西口オープンスペース

内容/各高校が農産物や加工品を販売



## マルシェに 参加した 高校生の声

- 和歌山市でどのような農産物の需要があるかを学ぶことができました。
- 新米袋は持ち帰りを考え3kgと5kgを用意したり、ミカンはよく見えるように透明の小袋に入れたりしました。販売の視点での学習ができました。
- 地元でもよく売れるドライフルーツを、和歌山市の皆さんにも味わってほしいと思って用意しました。販売結果やお客さんの声を次の販売につなげたいです。
- 冬には、ハクサイやダイコンなどの鍋料理にぴったりな野菜や、クリスマスに欠かせないポインセチアを販売しました。自分たちが栽培した農産物を買ってもらえて良かったです。



## 紀北農芸高校

かつらぎ町



和歌山県唯一の農業科専門高校です。カキ・モモを中心とした果樹や、野菜・草花の栽培を学ぶ施設園芸科、農産物の加工や販売・流通などを学ぶ生産流通科、機械・土木の専門知識を学ぶ環境工学科の3学科が設置されています。



## 有田中央高校

有田川町



総合学科高校の中に、令和4年度から、農業系列と新たにカルチャー農業系列を設置し、新しい農業教育を目指します。特産品であるミカンを中心に、マンゴーやブドウ山椒など、地域の特産品の栽培から加工・販売までを学びます。



## 南部高校

みなべ町



食と農園科と普通科を併設し、「南高梅」の命名由来にもなった学校です。ウメの栽培を中心に、野菜・草花の栽培、加工・販売や調理など、「農園」から「食」に関する内容まで幅広く学びます。

また、令和4年度から全国の農業科で初めて、調理師資格が取得できるコースが設置されます。



## 熊野高校

上富田町



総合学科と看護科が併設された学校で、2年生から農業科目を選択して、学習を深めることができます。ウメやミカンなどの果樹、野菜や草花の栽培、森林や環境などについて学びます。



農業系高校の紹介

# 先生も 学び続けて います!!



和歌山県では、教職員の資質向上のため、キャリア段階に応じた研修や専門性の向上を目指す研修等を設定し、学び続ける先生を応援しています。

また、令和2年度より、和歌山県の学校教育の推進を図るため、公立学校の教員等で構成される研究団体（以下、自主研究会という）の活動も応援しています。自主研究会とは、公立学校の教職員等が所属を横断して組織し、自主的に学校教育に関する研究・調査・講習会等を行っている団体です。

令和3年度に活動している19の自主研究会のうち、そのいくつかを紹介します。

## 【高等学校通級指導教室研究会】

**研究テーマ** 通級指導教室における授業づくりや、補助・代替手段としてのICT機器の活用方法。



**取組内容** 現在、県内の5つの県立高校に通級指導教室が設置されており、その5校の通級指導に関わる教職員等で、通級指導の課題解決に係る協議や情報交換を行っています。  
また、年度末には、研修会の開催や授業実践等をまとめた成果物を作成する予定です。



オンライン研修会の様子

## 【辻民塾】

**研究テーマ** 授業で勝負ができる教師を目指す、よりよい指導方法。



学習会での成果物

**取組内容** 長期休業中に、研究会メンバーが集まって授業実践報告を行い、その中で授業分析や意見交換を行っています。  
また、先輩教員を招聘し、講話をしていただいたり、日常の授業や学級活動がよりよくなるように指導していただいたりしています。



学習会の様子

## 【和歌山県宇宙教育研究会】

**研究テーマ** 県内の子供たちが宇宙を身近に感じられるための、よりよい指導方法。



モデルロケット発射準備の様子

**取組内容** 民間初のロケット発射場ができる串本町にて会員で合宿を行い、水ロケットやモデルロケットの作製及び指導方法の研究を行っています。  
また、各種イベントに会員が講師として参加し、子供たちにモデルロケットの作製の指導を行い、よりよい指導について研究しています。



缶サット甲子園の様子



(ポスター原画) 県立耐久高等学校 2年 保田 青澄さん

## 第42回 近畿高等学校総合文化祭 和歌山大会

∥ 2022年 ∥  
和歌山県で開催!



大会マスコット  
キャラクター  
きいちちゃん

●近畿高等学校総合文化祭とは…「近畿は一つ」の合言葉のもとに、芸術文化活動に取り組む近畿中心の2府8県の高校生が集い、日頃の活動の成果を発表し、技を競い、交流を深める祭典です。和歌山大会では、総合開会式と16部門の大会を開催し、約1万人の高校生が参加します。和歌山県での開催は10年ぶりとなります。

**大会テーマ** 「大地に響け 人の和と文化でつむぐ青春の旋律」  
(原案) 県立橋本高等学校 1年 吉田 芽生さん

**開催期間** 令和4年11月18日(金)~27日(日) **開催内容** 総合開会式、各部門大会(16部門)

**部門大会** 演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、郷土芸能、マーチングバンド・バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、自然科学、英語、茶道



# 展示・イベント

いずれも休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。  
※県立博物館・県立紀伊風土記の丘・県立自然博物館・県立近代美術館は有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

## 県立博物館

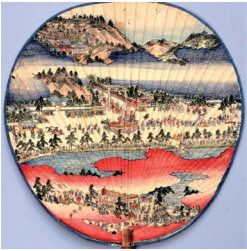
和歌山市吹上1-4-14  
☎073-436-8670

和歌祭創始400年記念 | 企 | 画 | 展 |

### 和歌祭と和歌の浦

期 3月12日(土)~4月17日(日)

令和4(2022)年は、和歌祭が江戸時代初めの元和8(1622)年に創始されてから400年の節目にあたります。この企画展では、和歌祭400年の歴史を振り返るとともに、その舞台となった景勝地・和歌の浦についても紹介します。



わかまつりずうちわ  
和歌祭図団扇  
いわせひろたか  
岩瀬 広隆 原画  
(和歌山県立博物館蔵)

## 県立近代美術館

和歌山市吹上1-4-14  
☎073-436-8690

### 20世紀からおみやげ。 近現代美術のたのしみ

期 2月5日(土)~3月27日(日)

美術作品は、同時代への提案であり、未来への「おみやげ」でもあります。20世紀の美術を通して、私たちのいまを考えます。



みしまきみよ  
三島喜美代《パッケージ》1974年  
(和歌山県立近代美術館蔵)

### コレクション展2022 - 冬春 特集「若き日の野長瀬晩花」

期 2月8日(火)~4月17日(日)

所蔵作品を通して、美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示します。



のながせばんか ひふき しょうじょ  
野長瀬晩花《被布着たる少女》1911年  
(和歌山県立近代美術館蔵)

## 県立紀伊風土記の丘

和歌山市岩橋1411  
☎073-471-6123

| 春 | 期 | 企 | 画 | 展 |

### 古代『紀伊国』の成り立ち ~奈良・平安時代のわかやま~

期 3月19日(土)~5月8日(日)

奈良・平安時代の役所関連跡と推定される遺構や、硯(すずり)などの出土品から、律令国家が成立した8世紀から10世紀頃における古代紀伊国の役所について考えます。



ごぼうしかたせいせき  
御坊市堅田遺跡  
ひだかぐんがかんれんいこう  
日高郡関連遺構  
(御坊市教育委員会提供)

## 県立自然博物館

海南市船尾370-1  
☎073-483-1777

| き | の | く | に | 野 | 外 | 博 | 物 | 館 |

### 巨大アンモナイトをさがせ!!

開催日時 3月20日(日) 13:00~16:00(雨天中止)

開催場所 湯浅町蜆原

もしかすると巨大なアンモナイトの化石に出会えるかもしれない...というロマンを抱きながら地層や化石の観察を行います。ぜひ、ご参加ください。



過去の開催の様子

【募集対象】小学生以上一般  
※小学生は保護者同伴

【定員】20名(要申込)

【申込締切】往復はがきに行事名、参加希望者全員(同伴保護者を含む)の住所・氏名(要ふりがな)・年齢・学年・電話番号をご記入のうえ、お申込みください。なお、応募者多数の場合は抽選で参加者を決定させていただきます。

【申込締切】3月6日(日)必着



## 高校生の皆さんへ 奨学金・給付金等のお知らせ

和歌山県では、高校生の皆さんが安心して学べるよう、次のような奨学金や給付金の支援制度があります。※各制度には支給要件があります。

### 安心して 高等学校等で学ぶ ために

#### 1 高等学校等就学支援金

公立高等学校の授業料(私立は授業料の一部)の負担が不要となります。

#### 2 高校生等奨学給付金

教科書費、教材費など授業料以外の教育に必要な費用を給付します。

#### 3 修学奨励金(奨学金)

高等学校等で学ぶための費用を貸与します。(無利子貸与)

### 安心して 大学等へ進学する ために

#### 4 和歌山県大学生等進学支援金

低所得世帯かつ大学等への進学意欲と能力が高い者に年間60万円を4年間貸与します。(選考検査有り。条件により返還免除有り。)

#### 5 修学奨励金(進学助成金)

大学等に進学するにあたり転居が必要な者に一時金を貸与します。(無利子貸与)

#### 6 高等教育の修学支援(授業料等減免・給付型奨学金)

要件を満たす大学生等に授業料等の減免や奨学金の給付をします。



問い合わせ先

1	公立	県教育庁総務課振興班	☎073-441-3646
	私立	県文化学術課学術振興班	☎073-441-2098
2	公立	県教育庁生涯学習課奨学班	☎073-441-3728
	私立	県文化学術課学術振興班	☎073-441-2098

3~5 県教育庁生涯学習課奨学班 ☎073-441-3663

6 文部科学省特設サイト「高等教育の修学支援新制度」

(<https://www.mext.go.jp/kyufu/>) サイトはコチラから→



# きのくに コミュニティ スクール



vol.10 | 由良町

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校(コミュニティ・スクール)とそれを支える既存の「共育コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。

由良町では、共育コミュニティ事業の活動の継続とともに、平成29年5月に衣奈小学校に学校運営協議会を設置しました。

令和元年には町内の全ての小中学校がコミュニティ・スクールとなり、「できる人が できるときに できることを」をテーマに、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めています。

少子高齢化に伴い、体験活動における指導者不足や、児童数の減少による町内3小学校の統合などの課題に対して、学校と地域が今まで以上に連携し、学校運営協議会を通して、「地域とともにある学校」を目指しています。



由良小学校 公開授業参観



由良小学校 昔のあそび体験

## 子ども未来塾から始まる 地域との関わり

毎週土曜日に町内3地区の公民館にて「子ども未来塾」を開講し、学習指導員が地域の小学生を対象に学習支援を行っています。核家族化や、共働きの家庭が増える中で、子供たちの居場所を作ることを目的としており、公民館が子供たちの居場所となることで、地域



衣奈子ども未来塾 シロップ作り

の方々と交流するきっかけとなっています。

また、共育コミュニティの取組として、地域の方々に講師に招き、ワカメ干し体験や、しめ縄作り体験など、地域の資源を活かした活動を行っています。



衣奈小学校 ワカメ干し体験

## 町内の教員を対象とした 研修会の開催

令和2年度に町内の小中学校の教員を対象に「由良町コミュニティ・スクール研修会」を開催しました。和歌山県CSマイスターもりひろし森博司氏より「社会に開かれた教育課程の実現」をテーマに講演いただきました。学校運営協議会の会議に参加したことがない教員にとって、この研修会は初めてコミュニティ・スクール

の背景、実践事例などを学ぶ機会となりました。

今後、学校運営協議会委員を対象にした研修会を計画しています。



由良町コミュニティ・スクール研修会



## ～大切なお知らせ～

### 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の再延期について

2022年5月に開催を予定していた「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が、新型コロナウイルス感染症の影響により再度延期となりました。同大会と和歌山県実行委員会は、大会成功に向け引き続き準備を進めてまいりますので、御理解をお願いします。今後の詳しい情報につきましては大会公式HPをご覧ください。

(<https://www.wmg2021.jp/>)



WMG2021

検索

大会マスコット  
スフラ





## 日高川町教育委員会



日高川町は、2005年(H17)5月1日に、日高郡川辺町・中津村・美山村が合併してできた町です。森林が多く、紀州備長炭の生産地としても有名です。

message

### 教育長挨拶

日高川町教育委員会教育長  
わ さ き み お  
和佐 公生



道成寺

日高川町は、古典芸能で有名な「道成寺」や日本一長い藤棚ロードをはじめとする美しい自然や文化、歴史に恵まれた町です。こうした環境を生かし、「豊かな心を育む教育・文化のまちづくりに向けた教育」を基本理念とし、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した「生きる力」を育む教育の推進に努めています。子供たちや町民が「安全、安心」「笑顔」で日々の生活が送れるよう、教育行政の充実に努めています。

## 学校図書館を活性化しよう!

今年度、県から委託を受け、文部科学省の『学校図書館の活性化に向けた調査研究事業』に取り組んでいます。

学校図書館の活性化を目指し、学校司書の仕事について研究しています。司書の仕事は学校図書館の環境整備だけでなく、授業で使う資料の準備や授業に参加してサポートもします。



大平教授の講義の様子



授業のサポートをする学校司書

11月には、町立和佐小学校で、県内から約60名が参加し、司書が準備した書籍とタブレットを活用した国語科の研究授業、大平睦美教授(京都産業大学)の講義を行いました。

今後はタブレットの双方向通信を活用して、学校司書が授業のサポートを行えないか研究していく予定です。

## 生涯学習・文化活動の拠点

「日高川交流センター」は、504名を収容できるホールや、調理実習室、会議室、図書室を備えた、まちづくり、生涯学習や文化活動の拠点施設です。

高齢者の生きがいづくりとして「あやめ学園」を開講し、趣味講座や世代間交流を行っています。あやめ踊り保存会では、本町出身の芳澤あやめ(元禄時代の歌舞伎女形)の「あやめ踊り」を地元小・中学生に継承する活動に取り組んで普及に努めています。

また、「ジュニア文化フェスティバル」を毎年開催して、舞踊やピアノ、ダンス、バレエ等の子供たちの文化発表を行います。そのほかにも絵本作家を招き「絵本ライブ」を行うなど、絵本の楽しさや本の魅力を伝えることで読書活動の推進につなげています。



日高川交流センター

### 『多世代が交流し地域の活性化へ』

子供たちに地域に対する愛着と誇りを育む機会を設けて、高齢者には生きがいを感じる社会になるような活動を行い、地域の住民が気軽に訪れることができる拠点施設である「交流センター」を目指し、地域の活性化を図っていきます。



あやめ踊りの継承活動



ジュニア文化フェスティバル

教育長エッセイ



教育長  
みやざき いずみ  
宮崎 泉

和歌山県教育委員会では、令和元年10月に『第6期きのくに教育審議会』にこれからの県立高等学校の在り方について諮問いたしました。その後令和2年8月に答申が出され、高等学校の再編整備の必要性を指摘されました。

なるほど、将来15年間で生徒数の減りようは凄まじいものがあり、放置しておくことはできない状況にあると痛感させられました。

過去も何度か高等学校の再編整備を行ってききましたが、事の性質上、抜き差しならない状況になってからでないと手が出せないのが実態でした。

今回は答申を受け取ってから、その説明会を実施したところ、大きく取り上げていただき、様々なご意見を頂戴いたしました。

そもそも審議会からいただいた提言を議論の出発点としております。これまでいただいた全てのご意見を踏まえて、令和3年12月に県教育委員会が考える原則と指針を作成して、パブリックコメントを募集いたしました。

その肝は、まず必要最小限の合意事項を前提に

しつつ、今ある学校をどうするかという発想にとどまらず、新しい教育や学校を作っていくという視点に立って、地域の子供たちにとってどのような要望にも応えられる高等学校であれ、ということです。一例を挙げれば、進学したい生徒は進学を、就職したい生徒は就職をしっかりとめざせるような、充実した教育課程を備えた高等学校でなくてはなりません。

各高等学校は、期待されている役割や使命とともに、どのような生徒を求め育てるかということも地域に明確に示し、学校独自の教育活動に取り組みます。そしてその結果として、高校生活を通して

生徒が自身の可能性や展望を見出し、前向きに能力を高めようとする意欲を持ち、これからの社会を担うことのできる人材が育っていくことが期待されます。

今後の教育委員会の仕事として、そういった期待に応えられるよう学校が地域に開かれているか、また、教員がそれに見合うだけの資質を備えているか、これらの課題に応じていかなければならないのはいうまでもないことです。

「これからの  
県立高等学校」

TOPICS 串本古座高等学校で **宇宙教育** が始まります！



本県では、串本町でのロケット打ち上げをきっかけとして、宇宙教育を推進していきます。県及び町が連携し、スペースワン株式会社などの協力を得て、地元の串本古座高等学校への令和6年度の宇宙探究コース新設に向けた取組をスタートします。宇宙について学びたい生徒を県内外から呼び込み、宇宙教育を通じて科学への興味・関心や学ぶ意欲を高め、未来を切り拓く人材の育成を目指します。

●問い合わせ先 県教育庁県立学校教育課 教育課程班 ☎073-441-3681

TOPICS 和歌山県教育委員会から **補充講師登録** のお知らせ

和歌山県では、講師登録者を募集しています。学校で勤務してみたい方はぜひご登録ください。

- 募集区分 常勤講師、非常勤講師
- 応募資格 それぞれに必要な資格・免許を有する方
- 応募書類配布 和歌山県教育委員会教職員課のWEBサイト
- 問い合わせ先 小中学校希望：紀北(有田地方以北)→義務教育課  
紀南(日高地方以南)→紀南教育事務所  
県立高校・特別支援学校希望(全県)→教職員課

【申し込みは上記各所まで応募書類を郵送もしくは持参のこと】

